

早割や前納で年金保険料節約を

知らなきや損する

今回は、2019年度からの国民年金保険料と年金額の改正について解説します。

2019年度の国民年金保険料は「1万6410円」、2020年度は「1万6540円」で、納付期限は、納付対象となる月の翌月末日までと定められています。

保険料の納付方法ですが、①口座振替で支払う②納付書で支払う③クレジットカード払いがあります。②の納付書で支払う場合、4月に送られてくる1年分の納付書を利用して、銀行などの金融機関、郵便局、コンビニ(30万円超えると不可)、電子納付などで納めます。口座振替やクレジット払いを利用する場合は、年金事務所などで手続きが必要です。

毎月の保険料は、翌月末日までの支払いですが①口座振替の場合、当月保険料を当月末日に納付する「早割」が利用できます。早割にすると月々約50円、年間で約600円の節約が可能です。なお、現金払い、早く納付しても割引はありません。

国民年金保険料の節約方法には、早割以外に、まとめて支払う「前納」があります。仮に2年前納なら2年間で1万5000円程度割引されます。

前納には、口座振替、現金、クレジット払いとも「6か月前納」「1年前納」「2年前納」があり、まとめ払いの割引額は図のとおりです。現金払いの場合、任意の月から当年度末や翌年度末までの前納も可能です。早割や前納を利用する場合も、年金事務所などで手続きが必要で、口座振替での前納申し込みの締め切りは、2019年2月28日までとなっています。なお、口座振替で残高不足のために振替ができないと割引がなくなりますので、注意してください。

次に、2019年度の年金額ですが、昨年度から「0.1%のプラス改定」になります。公的年金は、働いている現役世代から年金を受給する世代への送り制度です。年金額改正のルールは、①これから

口座振替による保険料と割引額

	6カ月前納	1年前納	2年前納
2019年度	9万7340円 (1120円)	19万2790円 (4130円)	37万9640円 (1万5760円)

現金およびクレジット払いの保険料と割引額

	6カ月前納	1年前納	2年前納
2019年度	9万7660円 (800円)	19万3420円 (3500円)	38万880円 (1万4520円)

2019年度の指標

●物価上昇率	1.0%
●名目手取り変動率	0.6%
●マクロ経済スライドによるスライド調整率	▲0.2%
●前年度までのマクロ経済スライドの未調整分	▲0.3%

年金を受給する人は賃金変動を、すでに年金を受給している人は物価変動をベースに改定し、②物価変動>賃金変動の場合は、両者とも「賃金変動をベースに改定」(賃金変動がマイナスなら変動なし)③物価変動も賃金変動もマイナスになる場合は、両者とも物価変動を下限に改定となります。

そして、2004年より導入になった「マクロ経済スライド」で改定されます。マクロ経済スライドでは、「スライド調整率(現役世代の減少率と平均寿命の伸び率を勘案した率)」を差し引いて、年金額を計算するというものです。さらに、2018年4月からマクロ経済スライドの調整ルールが変わり、調整できずに繰り越したマクロ経済スライド率は、物価・賃金の上昇時に調整する仕組み「キャリアオーバー」が導入になりました。

このような年金額改定のルールから、今年は、0.6%(賃金変動率)-0.2%(マクロ経済スライドによるスライド調整率)-0.3%(未調整分)=0.1%になります。



暮らしのマネープラン相談センター・所長
サードファイナンスファイナンシャルプランナー 高橋 昌子

いしかわ暮らしのマネープラン

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム資金・住宅ローン相談 …… 3万円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職資金・マネープラン相談 …… 3万円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター

金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F]

☎076-232-2038

要予約

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/>

●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00